

令和 8 年第 2 回定例会

陸前高田市教育委員会会議録

令和 8 年 2 月 1 2 日 開会

同 日 閉会

陸前高田市教育委員会

提出議案等審議結果（令和８年第２回定例会）

日程	議案等番号	件名	提 出 年月日	議 決 年月日	結果
第 1		会期決定	R8. 2. 12	R8. 2. 12	承認
第 2		事務報告	〃	—	報告
第 3	報告第 1 号	令和 8 年度陸前高田市教育行政の方針案について	〃	—	報告
第 4	議案第 1 号	第 1 0 次陸前高田市教育振興基本計画成果指標進捗状況について	〃	R8. 2. 12	承認
第 5	議案第 2 号	被災資料修理技術開発基金条例について	〃	〃	承認
第 6	議案第 3 号	文化財保護条例の一部を改正する条例について	〃	〃	承認
第 7	議案第 4 号	令和 7 年度陸前高田市一般会計補正予算(第 8 号)案について	〃	〃	承認
第 8	議案第 5 号	令和 8 年度陸前高田市一般会計予算案について	〃	〃	承認

令和8年第2回陸前高田市教育委員会定例会議事録

1 日 時 令和8年2月12日（木曜日）

午後1時30分開会 午後4時閉会

2 場 所 陸前高田市役所 5階会議室

3 教育長及び出席委員（5名）

教育長 山田市雄君 1番委員 遠藤健司君

2番委員 木下邦男君 3番委員 佐々木保伸君

4 欠席委員（1名）

4番委員 安田留美君

5 説明のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長 千葉達君

学校教育課長 吉田亜矢子君

教育総務課長補佐 佐々木伸哉君

学校教育課長補佐 青山豊英君

6 職務のため出席した職員

教育総務課主事 門馬奈々君

7 議事日程 令和8年2月12日（木曜日） 午後1時30分開議

日程第1 会期決定

日程第2 事務報告

日程第3 報告第1号 令和8年度陸前高田市教育行政の方針案について

日程第4 議案第1号 第10次陸前高田市教育振興基本計画成果指標進捗状況
について

日程第5 議案第2号 被災資料修理技術開発基金条例について

日程第6 議案第3号 文化財保護条例の一部を改正する条例について

日程第7 議案第4号 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算(第8号)案について

日程第8 議案第5号 令和8年度陸前高田市一般会計予算案について

8 会議に付した事件

～議事日程と同じ～

午後1時30分開会

9 議題及び議事の概要

- 1 教育長（山田市雄君） 午後1時30分会議規則第15条の規定により、開議する旨を宣した。
- 1 教育長（山田市雄君） 出席者が定足数に達しており、会議は成立した旨を宣した。

○日程第1 会期決定

- 1 教育長（山田市雄君） 日程第1「会期決定」を議題とする旨を宣し、今期定例会の会期は本日一日としたい旨を告げ、これに異議ないか諮った。
（「異議なし」の声あり）
- 1 教育長（山田市雄君） 異議なしと認め、会期は本日一日であると決定した旨を告げた。

○日程第2 事務報告

- 1 教育長（山田市雄君） 日程第2「事務報告」について、これまでの事務の執行状況について、報告を求めた。
- 1 教育長、教育次長、学校教育課長は、令和8年1月23日から令和8年2月12日までの事務の執行状況について報告した。
- 1 教育長（山田市雄君） 以上で事務報告の終了を告げ、質疑を許した。
（「なし」の声あり）
- 1 教育長（山田市雄君） 質疑なしと認め、以上をもって、日程第2「事務報告」について、終結する旨を告げた。

○日程第3 報告第1号 令和8年度陸前高田市教育行政の方針案について

- 1 教育長（山田市雄君） 日程第3 「報告第1号 令和8年度陸前高田市教育行政の方針案について」を議題とする旨を宣し、事務局をして朗読と説明を求めた。
 - ・教育次長は、報告第1号について説明をした。
- 1 教育長（山田市雄君） 報告第1号に対する質疑に入る旨を宣し、質疑を許した。
 - ・佐々木委員 全体を通して、基本計画では目標値と実績値を挙げながらやっておりますが、進捗に大幅に遅れている項目に対して回答や取り組みがあっても良いと思います。第9次に対して第10次はどうなっているのかや、県や全国と比べてどうなっているのか、その結果に対する取り組みは何か等があると良いです。
 - ・教育長 第10次基本計画が2年目になっておりますが、2年目の割には2ページ以降にそれらが盛り込まれていないということでしょうか。基本計画の進捗状況により、これは入れた方がいいというものを、方針案に盛り込んだ方が良いという意見なのでしょうか。
 - ・佐々木委員 方針案は大きい枠だと思いますが、そうです。
 - ・木下委員 4ページの真ん中ですが、アウトリーチ型支援とは従来の家庭訪問等とどのように違うのでしょうか。
 - ・学校教育課長 今までの担任による家庭訪問は継続しますが、今回行おうとしているアウトリーチ型支援は、学校にもジャンプスクールにも来られないが、家の近くの公民館等には出かけて勉強等ができるというお子さんに対して、ジャンプスクールの先生やスクールソーシャルワーカー（SSW）が出向いて、運動や遊び、勉強に組み込みをさせ、そこから段階的にジャンプスクール、または学校と幅を広げていく形の支援を想定しています。
 - ・木下委員 主にジャンプスクールの先生方ですか。
 - ・学校教育課長 そうです。あとは、田口カウンセラーが現在カウンセラー業務のみ行っているところですが、今回新しくSSWの役割も担っていただく事になっておりますので、そうすると家庭支援をもう少し幅広く行ってもらえます。教育相談員の手の空いた時はやっていただけるので、子どもの特

性に合わせて誰が行くかを検討して教育委員会のメンバーでサポートするというような事を考えておりました。

- ・教育長 教育支援センターもあまり聞き慣れないところです。県教育委員会の会議でも、設置を推奨しておりましたが、国の補助事業であります。
- ・遠藤委員 4ページ下から3行目ですが、架け橋期のカリキュラムの開発と実践とありますが、当市独自のものをつくるのでしょうか。
- ・学校教育課長 現在も当市独自のカリキュラムがありますが、国の方で5歳児と小学校1年生の2年間を長い目で見て、子ども達が小学校に移行する際に主体的に取り組めて、よりスムーズに移行できるカリキュラムを開発していくことを進めています。当市でも今まであったものを現状に併せて見直し、どうすればよりスムーズに移行できるのかをみんなで話し合いながら、取り組んでいくというのを現在考えております。
- ・遠藤委員 国の方針があり、それに基づいているということでしょうか。
- ・学校教育課長 そうです。市独自でそれぞれでみんなで話し合いながら作っていく形になります。
- ・木下委員 関連ですが、これは誰が主体となって進める事業なののでしょうか。
- ・学校教育課長 最終的には地区ごとに、保育所と小学校が連携しながら、その学区に合わせたものを作っていくのですが、いきなりお願いしますというのは難しいので、まずは教育研究所が中心となりながら、市のバージョンをつくることを考えています。
- ・佐々木委員 色々な組織等が増えているのに対し、教育研究所の職員は減るそうですが、持続が厳しいと思いますがいかがでしょうか。
- ・学校教育課長 実際は指導主事がやるわけではなく、専門的な会計年度職員を増やして対応する事を考えています。
- ・木下委員 4ページの「次に」の段落の最後の方ですが、きめ細やかという表現がありますが、正しいのでしょうか。
- ・学校教育課長 決め細かが正しいです。
- ・佐々木委員 教育振興運動はもういらないのでしょうか。
- ・教育長 いらないわけではないですが、本市の場合は地域学校協働活動に取り組んでおります。

- ・遠藤委員 11ページの下から4行目ですが、これから15年、30年と書いてありますが、何か特別な区切りでしょうか。
- ・教育総務課長補佐 冒頭のところで、震災から15年と最初に触れていることから、15年とその倍の30年としました。
- ・木下委員 5ページに、キャリア教育の推進の中で、小学校6年生を対象とした生き方講座を行うとありますが、どのようなものでしょうか。
- ・学校教育課長 中学校では「MAKE THE FUTURE」を継続的に行っており、子どもたちの進路意識が高まっているのを感じているところですが、教育委員会として小学生を対象としたキャリア教育に不足を感じており、6年生の段階で子ども達が自分の生き方や、なりたい自分を明確に思い描いて努力し、中学生にステップアップしていくことをねらいとし、20代～30代の震災を中高生で経験した子達があの頃の本当に辛かった思いをもとに「地元で貢献しよう」という強い思いを持って地元に戻ってきて、いろんな職業に就いている状況もあり、比較的小学生にとって年代の近いお兄さんやお姉さんたちを講師に招き、地元で夢を持って頑張っているというようなお話を小学生に聞かせたいと考えております。陸前高田の中にまだまだ可能性があると思ってもらい、「自分もこうなれる」と思う気持ちが小学6年生に芽生えることを目的とした生き方講座を考えております。具体的には学校毎か、小中連携を考え、中学校の学区毎に小学6年生の秋ぐらいに行うことを考えておりました。
- ・木下委員 それは教育委員会が主催でしょうか。
- ・学校教育課長 はい。その通りです。
- ・佐々木委員 美術品展示についてですが、旧東中学校を軸としてとありますが、この間の決議で決まっていないかと思しますので、旧東中学校等とした方が良いと思います。もしくは廃校等と学校名を明記しない方が良いと思います。
- ・教育長 東海新報の記事がどのように書いているかを確認し、それに合わせる形に直したいと思います。

- 1 教育長（山田市雄君） 他にないか諮った。

（「なし」の声あり）

- 1 教育長（山田市雄君） 質疑なしと認め、以上をもって、日程第3「報告第1号 令和8年度陸前高田市教育行政の方針案について」について、終結する旨を告げた。

○日程第4 議案第1号 第10次陸前高田市教育振興基本計画成果指標進捗状況について

- 1 教育長（山田市雄君） 日程第3 「議案第1号 第10次陸前高田市教育振興基本計画成果指標進捗状況について」を議題とする旨を宣し、事務局をして朗読と説明を求めた。

- ・教育次長は、議案第1号について説明をした。

- 1 教育長（山田市雄君） 議案第1号に対する質疑に入る旨を宣し、質疑を許した。

- ・佐々木委員 全国平均はないのでしょうか。

- ・学校教育課長 こちらは県学調との比較になっております。

- ・教育次長 教育振興基本計画の進捗状況の差を見る場合には県学調としています。

- ・佐々木委員 基礎学力の部分については、年度により違いがあり、当市の子ども達は数も少ないので妥当性に疑問がありますが、気になるのは「思い」や「願い」の部分は、大きく変わらないのではないかと思います。子ども達の数が少ないので学年により、大きく変化することは事実ですが、この前の県教委の教育長・教育委員研修会の未来の風せいわ病院の院長先生の講話の中で、岩手県は自殺者がとても多く、自己肯定感が低いとのことでした。だから、県学調との比較で良いのかと思いました。気になるところは県との差だけではなく、全国との差を比べるとか、例えばICTも岩手県は最下位とのことですが、全国とどの程度の差があるのか気になりました。

- ・学校教育課長 質問によっては全国でも質問している項目がありますので、資料として調べておきたいと思います。

- ・木下委員 1ページ1番上の段の文章2つ目ですが、教科書全体を読むこととありますが、文章全体とした方がわかりやすいかと思いました。

- ・木下委員 算数のところの中学校の取り組みの状況の中に、「他学年の基礎的な」と書いてありますが、小学生のことであれば、小学生と書いた方が分かりやすいかと思いました。
- ・遠藤委員 3ページですが、「自分には良いところがあると思う」という部分の中学生の割合が、令和5年度から28%ぐらいですが、これは大きな問題かと思います。進捗に大幅な遅れというのは単純割りであって、あまり参考にならず、変わらずに低いものは注目すべきだと思います。
- ・学校教育課長 こちらは県平均よりも低く出ている部分でもありますので、注目していきたいと思います。
- ・佐々木委員 ここで私が先程言ったとおり、全国の結果もあれば、県と全国の比較も行えます。
- ・木下委員 小学校の学力との相関をみると、テストの結果が低い子どもが自己肯定感が低いところがあります。
- ・学校教育課長 一番は子ども達が「わかった」「できた」と帰るのが一番ですが、みんなの前でできない自分となると、苦しくなるのかと思います。退職した地域の先生方が教える、「地域未来塾」を色々な学校で増やしているところですが、そこで分からない子達が「分かった」と実感をもてるようにしていきたいですし、先生方の声がけの仕方等のサポートにもう少し力を入れていきたいと思います。
- ・佐々木委員 4ページの睡眠時間のところですが、せいわ病院の先生が、スマホの依存症で通院している小学生が増えているとおっしゃっておいりました。病的になると治療を受けなければいけないですが、そのような子が増えているのではないのでしょうか。
- ・学校教育課長 以前は中学校でその傾向が高かったのですが、現在は学校により、小学校高学年の男子がゲームを遅くまでやり、翌日に眠気や体調不良を訴える声も聞こえてきておりますので、小学校のその辺りの指導を家庭も含めて力をいれて取り組んでいかなければならないと思います。最近ではテレビゲームではなく、スマホでのゲームが増え、リ九高ルールでリビングに携帯を置くとはしているのですが、自分の部屋に持って行ってしまい、親の见えないところでの使用があるようです。

- ・佐々木委員 ゲームに相手がいることもあると思います。寝るのが朝の4時等になり昼夜逆転してしまう子が私が教員をしていた頃からありました。
- ・木下委員 せいわ病院の先生の話では、入院してくる子ども達の中には家庭環境が複雑で、ゲームにのめり込んでしまう個人個人の理由があるからすごく難しいと感じました。
- ・学校教育課長 スポ少をやっており、疲れて帰宅して、すぐ寝るという健康的な生活を送っている子どもがいる一方で、帰って遅くまでゲームをする事で、かえって覚醒し寝付けなくなり、朝方眠る傾向もありますので、総合的に色々なところが必要になると思っております。家庭へのサポートが必要かと思しますのでS S Wにも家庭に刺さって欲しいと思います。
- ・佐々木委員 かつて震災の際には大きな被害を受けたということで全員カウンセリングを受けました。それと同様にと言わずとも、各学校で調査し、ゲーム時間が多い子に対してカウンセラーとの時間を設けても良いのではないかと思います。自分で申し出てくる時点ではかなり重症だと思います。そうなる前にカウンセラーと話すことで軽くすむというような取り組みもあると思います。

1 教育長（山田市雄君） 他にないか諮った。

（「なし」の声あり）

1 教育長（山田市雄君） 質疑なしと認め、議案第1号に対する討論に入る旨を宣し、討論を許した。

（「なし」の声あり）

1 教育長（山田市雄君） 討論なしと認め、議案第1号について、原案のとおり決することに異議がないか諮った。

（「異議なし」の声あり）

1 教育長（山田市雄君） 異議なしと認め、「議案第1号 第10次陸前高田市教育振興基本計画成果指標進捗状況について」は、原案のとおり決した旨を宣した。

○日程第5 議案第2号 陸前高田市公民館規則の一部を改正する規則について

1 教育長（山田市雄君） 日程第5 「議案第2号 被災資料修理技術開発基金条

例について」を議題とする旨を宣し、事務局をして朗読と説明を求めた。

- ・教育次長は、議案第2号について説明をした。

1 教育長（山田市雄君） 議案第2号に対する質疑に入る旨を宣し、質疑を許した。

- ・佐々木委員 基金はいくらぐらいあるのでしょうか。

- ・教育次長 国の予算がまだ通っておりませんが、想定では7億5千万円ほどいただけるとのことです。国の予算の議決を受けてからこちらで基金を作り、令和8年度に使う分はそこから下ろして各博物館や大学等に委託を行うことを考えております。

- ・佐々木委員 まだ受けていないとのことですが、毎年くるものなのでしょうか。

- ・教育次長 国からはこれが最後と言われております。この基金が無くなれば終わりということになります。最初は3年の計画で使い切るようにしますが、おそらくは延長し、最大で5年までは使えるということになっております。あくまで残額が残っていればということです。

- ・佐々木委員 博物館では件数的に既にかかなりの数の文化財を修復し、修復に時間がかかるものが残っていると聞いていますがどうでしょうか。

- ・教育次長 技術開発がまだできていないものは、手を付けられませんので保管したままになります。国が方針を変更しない限りは、今回でできる限りを行い、残ったものに関しては修理が必要な状態のまま何かの活用を図ったり、各大学から様々な研修で来ていただいておりますので、そういった際に修復手順を体験していただく資料として活用したりしながら、少しずつでも安定化処理を続け、最終的にできる限りゼロに近くなるようにやる形となります。

1 教育長（山田市雄君） 他にないか諮った。

（「なし」の声あり）

1 教育長（山田市雄君） 質疑なしと認め、議案第2号に対する討論に入る旨を宣し、討論を許した。

（「なし」の声あり）

1 教育長（山田市雄君） 討論なしと認め、議案第2号について、原案のとおり決することに異議がないか諮った。

（「異議なし」の声あり）

- 1 教育長（山田市雄君） 異議なしと認め、「議案第2号 被災資料修理技術開発基金条例について」は、原案のとおり決した旨を宣した。

○日程第6 議案第3号 文化財保護条例の一部を改正する条例について

- 1 教育長（山田市雄君） 日程第6 「議案第3号 文化財保護条例の一部を改正する条例について」を議題とする旨を宣し、事務局をして朗読と説明を求めた。

- ・教育次長は、議案第3号について説明をした。

- 1 教育長（山田市雄君） 議案第3号に対する質疑に入る旨を宣し、質疑を許した。

- ・佐々木委員 今まで保護調査委員会があったのに対して新たに保護審議会を設置するのはなぜでしょうか。

- ・教育次長 今回一部改正する条例であります、保護審議会の設置と、以前の保護調査委員会を廃止する2本立てとなっております。文化財の保存活用の地域計画の策定に保護審議会で練っていただく必要があることから設置するものであり、調査委員会は同じような形ですが地域計画の設置のために必要な組織ではないために、調査委員会は廃止するものです。

- 1 教育長（山田市雄君） 他にないか諮った。

（「なし」の声あり）

- 1 教育長（山田市雄君） 質疑なしと認め、議案第3号に対する討論に入る旨を宣し、討論を許した。

（「なし」の声あり）

- 1 教育長（山田市雄君） 討論なしと認め、議案第3号について、原案のとおり決することに異議がないか諮った。

（「異議なし」の声あり）

- 1 教育長（山田市雄君） 異議なしと認め、「議案第3号 文化財保護条例の一部を改正する条例について」は、原案のとおり決した旨を宣した。

○日程第7 議案第4号 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算(第8号)案について

- 1 教育長（山田市雄君） 日程第7 「議案第4号 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算(第8号)案について」を議題とする旨を宣し、事務局をして朗読と説明を求めた。
 - ・教育次長は、議案第4号について説明をした。
- 1 教育長（山田市雄君） 議案第4号に対する質疑に入る旨を宣し、質疑を許した。

（「なし」の声あり）
- 1 教育長（山田市雄君） 質疑なしと認め、議案第4号に対する討論に入る旨を宣し、討論を許した。

（「なし」の声あり）
- 1 教育長（山田市雄君） 討論なしと認め、議案第4号について、原案のとおり決することに異議がないか諮った。

（「異議なし」の声あり）
- 1 教育長（山田市雄君） 異議なしと認め、「議案第4号 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算(第8号)案について」は、原案のとおり決した旨を宣した。

○日程第8 議案第5号 令和8年度陸前高田市一般会計予算案について

- 1 教育長（山田市雄君） 日程第8 「議案第5号 令和8年度陸前高田市一般会計予算案について」を議題とする旨を宣し、事務局をして朗読と説明を求めた。
 - ・教育次長は、議案第5号について説明をした。
- 1 教育長（山田市雄君） 議案第5号に対する質疑に入る旨を宣し、質疑を許した。
 - ・遠藤委員 特定財源で陸前高田ががんばっぺし応援基金と出てきますが、どのぐらい基金がありどのようなことに使っていくものなののでしょうか。
 - ・教育次長 大体、ふるさと納税でいただけるのが年間8億から10億の間ですが、もちろん上限はあります。「子ども達の為ににお使い下さい」というものが総額の半分以上ですが、その中の半分である2億から3億ぐらいを使えるところです。
 - ・遠藤委員 学校教育課で1億ぐらい使っているようですが大丈夫ということでしょうか。
 - ・教育次長 教育委員会だけではなく、保育所等の子ども達や乳児にも使用します

が、無くなることはないと思います。

- ・学校教育課長補佐 学校教育課分として見ていただいているのが大体6800万円です。

- ・木下委員 18ページの29番と40番の就学援助事業ですが、どちらも減っていますが対象の児童・生徒が減っているということでしょうか。

- ・学校教育課長補佐 お見込みのとおりです。

1 教育長（山田市雄君） 他にないか諮った。

（「なし」の声あり）

1 教育長（山田市雄君） 質疑なしと認め、議案第5号に対する討論に入る旨を宣し、討論を許した。

（「なし」の声あり）

1 教育長（山田市雄君） 討論なしと認め、議案第5号について、原案のとおり決することに異議がないか諮った。

（「異議なし」の声あり）

1 教育長（山田市雄君） 異議なしと認め、「議案第5号 令和8年度陸前高田市一般会計予算案について」は、原案のとおり決した旨を宣した。

1 教育長（山田市雄君） 以上をもって、本日提案された案件は全て議了した旨を宣した。

1 教育長（山田市雄君） これにて、令和8年第2回陸前高田市教育委員会定例会を閉会する旨を宣した。

午後4時分閉会